

Preparing to Drive Sheet Piling,  
Kuramaye Bridge, Tokyo.

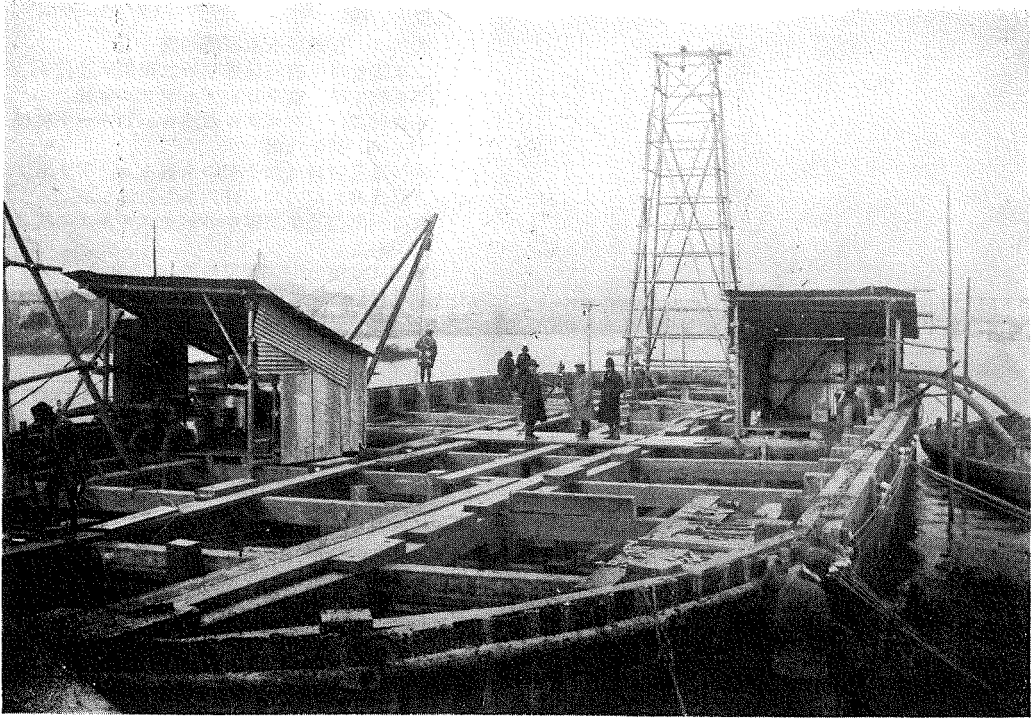
シートパイルの中枠

藏前橋(復興局の工事隅田川所在)

圖は第二號橋脚基礎工事用締切を造る爲の中  
枠建設中の光景である。

中枠材は米松にて十二吋×三十呎のものを六  
呎間隔に立込んだものである。

此の工法は先づ船に杭打足代を設備して、河  
中杭打をなし、次に枠組をなしたるものであ  
る。



シートパイル 締切工事竣工

Sheet Piling Work,  
Kuramaye Bridge, Tokyo.

### 藏 前 橋

圖は第二號橋脚基礎工事用締切のシートパイル打込を終了した處である。

締切はラツカーロナ、スチール、シートパイル長三十呎のものを一重にて一橋脚全面を囲みたるものである。

大正十三年九月工事着手で此の橋脚全体の工事は十四年一月竣工豫定である。

直營工事にして福井技師擔任

締切其他工事費五萬三千圓

圖中締切上に見ゆるは兩側に設備したる水換用ポンプにして、六吋四臺、四吋一臺のセントリフューガルポンプを備へ。水換の初めは六吋四臺を同時に運轉し一度換切りたる後は四吋ポンプ一臺にて内部の掘鑿に支障なし。

内部掘鑿はリンクベルト會社製のクレーンにてバケツトを用ひたるもの。

シートパイルの水漏れを防ぐには外側に石炭殻を投入するが最も良い方法である。

圖の中央は今恰も中心測量のためトランシツトを据付けたる處。

其後部の足代はパイル、ドライバーの代りに造りたる杭打用の高さ約五十尺の槽である。之で三十呎の杭を打つものである。